

足立区
都市農業公園

桜 マップ



都市農業公園が管理している桜と
街路樹を合わせて約370本。

※2019年3月現在

・・・桜が植わっている場所

写真スポットに
オススメ☆



②長屋門と染井吉野



①新芝川沿いのアメリカ並木



③芝生広場



④公園前歩道



江北の五色桜資料展示室

工房棟：紙漉き染色室隣

五色桜の歴史や桜についての展示を行っています。(開館時間 9:00～16:00)

足立区都市農業公園の桜

約50種290本の桜



足立区都市農業公園の桜は約50種290本の桜があります。早咲きから遅咲きのもの、色とりどりの桜が咲き誇り、3月から4月下旬頃まで桜を楽しむことができます。

正門前、新芝川沿い、芝生広場、荒川にあり、各所で風情ある姿が見られます。

荒川堤の五色桜について

なぜ荒川堤にサクラが植えられたのでしょうか？

明治18(1885)年、江北村(現足立区江北)では、荒川(現在の隅田川)の堤防の改修工事をするようになりました。

そのとき、村民から堤防の上にサクラを植えてほしいという要望がありました。それは、夏の日陰のため、堤防の補強のため、洪水時の船つなぎのため、などの理由からでした。

そのため、根株が広がり、木があまり大きくなならないサトザクラを植えることになり、翌年明治19(1886)年に荒川堤にサクラが植えられることとなったのです。



「荒川堤の五色桜について」

参考文献:「新修 足立区史 上巻」 足立区役所 1967
「足立史談」3,27,28,174,176~182,257 足立区教育委員会



五色桜ってどんなサクラ？

荒川堤には、「紫桜」^{むらさきざくら}「関山」^{かんざん}「白妙」^{しろたえ}「鬱金」^{うこん}をはじめとして、78品種3000本あまりのサトザクラが植えられました。それらの花の色は、濃紅色・紅色・淡紅色・白色・黄緑色など様々で、花が咲いた風景はまるで五色の雲をたなびかせたように見えたことから、とある新聞記者が「五色桜」と表現しました。それがきっかけで、荒川堤のサクラは「五色桜」とよばれるようになったそうです。



かんざん
関山



やえむらさきざくら
八重紫桜



たおやめ
手弱女



しろたえ
白妙



うこん
鬱金

ワシントンへ渡ったサクラと「里帰り桜」

荒川堤のサクラは明治45(1912)年、東京とアメリカのワシントンとの親善のために寄贈されることになりました。そこで荒川堤から12種3000本のサクラがワシントンのポトマック河畔に植えられました。

しかし、第二次世界大戦による被災や戦後の急激な都市化などにより多くのサクラが荒川堤から失われていきました。こうした状況の中、足立区と東京都はワシントンにお願いして、以前東京から贈ったサクラの苗木をもらうことにしました。サクラが故郷に里帰りしたのです。

さらに昭和56年には区制50周年記念として、再びワシントンからサクラの里帰りが実現することとなり、現在の都市農業公園に植えられました。



アメリカザクラ

足立区都市農業公園

〒123-0864 東京都足立区鹿浜2-44-1

TEL:03-3853-4114 FAX:03-3853-3729

E-mail:toshino@ces-net.jp WEB:https://www.ces-net.jp/toshino/

足立区都市農業公園

桜マップ

裏面をご覧ください→

桜の品種紹介は
中面をご覧ください↓